

# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月9日

上場取引所 福

上場会社名 RKB毎日放送株式会社

コード番号 9407 URL <http://www.rkb.ne.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永守 良孝

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 古賀 輝

TEL 092-852-6624

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	17,392	△0.2	841	63.2	892	57.5	490	61.0
22年3月期第3四半期	17,424	△5.0	515	△12.9	566	△5.4	304	△47.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	44.69	—
22年3月期第3四半期	27.70	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	37,370	25,023	65.4	2,226.59
22年3月期	38,887	24,952	62.6	2,216.29

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 24,436百万円 22年3月期 24,330百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	12.00	12.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,210	0.4	1,140	36.6	1,180	35.9	620	28.4	56.48

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	11,200,000株	22年3月期	11,200,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	225,053株	22年3月期	222,073株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	10,976,395株	22年3月期3Q	10,995,090株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 平成23年3月期の個別業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,770	△0.7	1,080	20.4	1,100	12.6	580	2.8	52 84

(注) 個別業績予想数値の当四半期における業績予想の修正有無：有

※個別業績予想の適切な利用に関する説明

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	2
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	その他の情報	3
(1)	重要な子会社の異動の概要	3
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3)	会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4)	継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書	6
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4)	継続企業の前提に関する注記	8
(5)	セグメント情報	8
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4.	(参考) 四半期業績 (個別)	9
(1)	四半期業績 (個別)	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エコカー減税やエコポイントなどの緊急経済対策等の効果もあり景気回復の兆しは見えたものの、依然として雇用不安や円高の進行、株価の低迷などから、先行き不透明な経済環境が続いています。

主たる事業の放送業界では、企業の広告活動により回復傾向がみられ、当社の収入の柱であるテレビのスポット収入が前年を上回り、経費の効率的な運用などもあって、大幅な増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は173億92百万円(前年同期比0.2%減)で減収となりましたが、営業利益は8億41百万円(前年同期比 63.2%増)、経常利益は8億92百万円(前年同期比 57.5%増)、四半期純利益は4億90百万円(前年同期比 61.0%増)といずれも増益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

## ①放送事業

放送事業は、収入117億48百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益6億56百万円(前年同期比 92.8%増)となりました。

テレビ部門は、収入103億18百万円(前年同期比0.5%増)となりました。タイム収入は企業の固定費削減傾向もあり9.0%減少したものの、スポット収入が6.4%増と好調を維持した結果、増収となりました。業種別では通信・放送、自動車などの輸送機器が伸び、前年を上回りました。

ラジオ部門は、収入14億30百万円(前年同期比4.6%減)となりました。全国的なラジオ広告投下量の減少により、タイム収入はショッピング番組等の増加により4.4%増となったものの、スポット収入は13.3%減、制作収入も13.3%減となり、減収となりました。業種別では、サービス・娯楽や食品・飲料などが大きく落ち込みました。

## ②システム関連事業

システム関連事業は、収入35億24百万円(前年同期比10.0%増)、営業損失1億98百万円(前年同期は営業損失2億96百万円)となりました。

収入については自治体向けソフトウェア開発の受注が好調で増収となりました。利益面では価格競争が厳しさを増しており、開発経費、外注費の削減等コスト管理を徹底し、前年同期より改善しました。

## ③不動産事業

不動産事業は、収入10億12百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益5億33百万円(前年同期比0.2%増)となりました。

RKB放送会館立体駐車場の稼働により駐車場賃貸収入等が増加し、増収増益となりました。

## ④その他事業

その他事業は、収入18億59百万円(前年同期比16.4%減)、営業損失1億48百万円(前年同期は営業損失59百万円)となりました。

催事部門では、「じゃじゃ馬馴らし」や「黄金の都 シカン展」等を開催しましたが、前年実施した「白洲次郎と正子の世界展」や全国5会場で実施した「吉村作治の新発見! エジプト展」の収入をカバーできず減収となり、営業損失が拡大しました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億17百万円減少し、373億70百万円となりました。これは主に、回収等により受取手形及び売掛金が9億60百万円、株価の下落等により投資有価証券が4億76百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期末の総負債は、前連結会計年度末に比べ15億88百万円減少し、123億46百万円となりました。これは主に、支払等により未払費用が7億30百万円、未払法人税等が1億99百万円、借入金の返済により長期借入金で2億63百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期末の純資産は、前連結会計年度末に比べ71百万円増加し、250億23百万円となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億15百万円減少し、26億25百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ8億20百万円減少し、7億88百万円(前第3四半期連結累計期間は16億9百万円の獲得)となりました。これは主に売上債権の回収が7億86百万円減少したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ10億38百万円減少し、5億86百万円(前第3四半期連結累計期間は16億24百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が8億36百万円減少したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ2億39百万円増加し、5億17百万円(前第3四半期連結累計期間は2億78百万円の支出)となりました。これは主に短期借入金の借入額が3億円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期における業績は、主たる事業である放送事業においてテレビスポットが好調を維持しており、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、平成22年11月9日に公表いたしました平成23年3月期の通期業績予想を修正しております。この結果、売上高242億10百万円、営業利益11億40百万円、経常利益11億80百万円、当期純利益6億20百万円を見込んでおります。

## (参考)

## ・平成22年11月9日発表の連結業績予想(通期)

売上高 234億70百万円、営業利益 9億50百万円、経常利益 9億80百万円、当期純利益 5億円

## 2. その他の情報

## (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

## ①簡便な会計処理

・繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

## 資産除去債務に関する会計基準の適用

・第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益は、79百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は79百万円であります。

## (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,845	3,211
受取手形及び売掛金	2,939	3,899
有価証券	129	45
商品	98	14
仕掛品	478	190
貯蔵品	27	24
その他	2,922	2,612
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	9,433	9,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,050	8,306
機械装置及び運搬具(純額)	1,649	2,125
土地	13,321	13,321
その他(純額)	436	324
有形固定資産合計	23,457	24,077
無形固定資産		
投資その他の資産	18	6
投資有価証券	3,336	3,812
その他	1,139	1,013
貸倒引当金	△15	△12
投資その他の資産合計	4,460	4,813
固定資産合計	27,936	28,896
資産合計	37,370	38,887
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	242	358
短期借入金	727	777
未払法人税等	154	353
その他	2,512	3,233
流動負債合計	3,636	4,722
固定負債		
長期借入金	2,158	2,422
退職給付引当金	4,642	4,552
役員退職慰労引当金	54	88
負ののれん	53	63
資産除去債務	79	—
その他	1,722	2,086
固定負債合計	8,710	9,213
負債合計	12,346	13,935

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	23,824	23,465
自己株式	△171	△169
株主資本合計	24,217	23,860
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	219	469
評価・換算差額等合計	219	469
少数株主持分	586	621
純資産合計	25,023	24,952
負債純資産合計	37,370	38,887

## (2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	17,424	17,392
売上原価	11,243	11,005
売上総利益	6,181	6,387
販売費及び一般管理費	5,665	5,545
営業利益	515	841
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	59	43
その他	61	67
営業外収益合計	126	114
営業外費用		
支払利息	71	59
その他	3	4
営業外費用合計	75	63
経常利益	566	892
特別利益		
国庫補助金	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産除売却損	23	13
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	79
ゴルフ会員権評価損	1	1
その他	1	6
特別損失合計	26	101
税金等調整前四半期純利益	540	793
法人税等	282	334
少数株主損益調整前四半期純利益	—	459
少数株主損失(△)	△47	△31
四半期純利益	304	490

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	540	793
減価償却費	1,166	1,072
負ののれん償却額	△10	△10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	4
退職給付引当金の増減額(△は減少)	197	90
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	△33
受取利息及び受取配当金	△64	△47
支払利息	71	59
固定資産除売却損益(△は益)	23	13
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	79
ゴルフ会員権評価損	1	1
補助金収入	—	△2
売上債権の増減額(△は増加)	1,687	901
たな卸資産の増減額(△は増加)	△491	△375
仕入債務の増減額(△は減少)	△753	△539
未収消費税等の増減額(△は増加)	0	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1	△29
その他の資産の増減額(△は増加)	32	△106
その他の負債の増減額(△は減少)	△142	△454
その他	—	0
小計	2,259	1,416
利息及び配当金の受取額	64	47
利息の支払額	△54	△45
法人税等の支払額	△659	△629
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,609	788
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△330	50
有価証券の売却による収入	55	45
有形固定資産の取得による支出	△1,292	△455
投資有価証券の取得による支出	△74	△69
無形固定資産の取得による支出	—	△16
その他	17	△139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,624	△586
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	250	△50
長期借入金の返済による支出	△263	△263
配当金の支払額	△167	△133
少数株主への配当金の支払額	△4	△3
その他	△93	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△278	△517
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△293	△315
現金及び現金同等物の期首残高	2,870	2,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,577	2,625

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、各事業区分ごとに包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業区分を基礎とした事業別セグメントから構成されており、「放送事業」、「システム関連事業」、「不動産事業」および「その他事業」の4つを報告セグメントとしております。

「放送事業」はテレビ、ラジオの番組およびスポットCM販売を主な事業活動としております。「システム関連事業」はソフトウェア開発・販売・保守、受託計算を主な事業活動としております。「不動産事業」は不動産の賃貸、駐車場運営を主な事業活動としております。「その他事業」はイベント企画・製作を主な事業活動としております。

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額
	放送事業	システム関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,626	3,483	797	1,484	17,392	—	17,392
セグメント間の内部売上高又は振替高	121	40	214	375	752	△752	—
計	11,748	3,524	1,012	1,859	18,144	△752	17,392
セグメント利益又は損失(△) 〈営業利益又は営業損失(△)〉	656	△198	533	△148	842	△0	841

## (参考情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額
	放送事業	システム関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,637	3,163	778	1,844	17,424	—	17,424
セグメント間の内部売上高又は振替高	128	41	222	380	772	△772	—
計	11,766	3,205	1,000	2,224	18,197	△772	17,424
セグメント利益又は損失(△) 〈営業利益又は営業損失(△)〉	340	△296	532	△59	516	△0	515

(注) 前第3四半期連結累計期間の【事業の種類別セグメント情報】を報告セグメント情報に組替えております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. (参考) 四半期業績 (個別)

(百万円未満切捨て)

(1) 平成23年3月期第3四半期の個別業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

## ①個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	13,092	△2.0	993	29.8	1,021	17.6	544	15.1
22年3月期第3四半期	13,363	△7.8	765	2.7	868	0.0	473	△38.3

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第3四半期	49	62	—	—
22年3月期第3四半期	43	03	—	—

## ②個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
23年3月期第3四半期	32,434		22,400		69.1		2,041 08	
22年3月期	33,580		22,240		66.2		2,025 90	

## ③個別売上明細

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
テレビ収入	10,266	76.8	10,318	78.8	51	0.5
ラジオ収入	1,499	11.2	1,430	10.9	△69	△4.6
不動産事業収入	709	5.3	747	5.7	38	5.4
その他事業収入	887	6.7	595	4.6	△291	△32.8
合計	13,363	100.0	13,092	100.0	△270	△2.0

(注) この四半期財務諸表(個別)は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。